

機械器具 48 注射筒  
一般医療機器 汎用注射筒 13929001

## UNIEVER 注射筒

### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

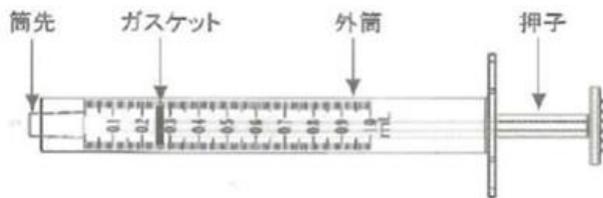
- ・再使用禁止
- ・造影剤等の高圧注入には使用しないこと。  
[液漏れ又は破損する可能性がある。]

#### 【形状・構造及び原理等】

##### 1. 構成

本品は、外筒、押子、ガスケットからなる。

##### 2. 形状・構造



##### 3. 原材料

- 外筒：ポリプロピレン
- 押子：ポリプロピレン
- ガスケット：シリコンゴム

#### 【使用目的又は効果】

本品は、主として薬液投与、又は採液等に使用するための器具である。液体又はガスを注射・注入するか引き抜くために用いる。プラスチック製で、目盛付の容器及び押子から成る。注射針を用いて薬剤の投与又は採血に用いることが多い。

#### 【使用方法等】

1. 必要に応じて、あらかじめ手袋を着用する。
2. 本品を包装から取り出す。
3. 注射又は採血に使用する場合は、注射針等と確実に接合し、使用する。
4. 穿刺部位を消毒する。
5. 穿刺部位に穿刺し、注射又は採血等を行う。
6. 針を抜去後、必要な場合は、止血を行う。

#### ＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・目盛合わせは、下記の図に示した様に、ガスケットの位置で行うこと。



- ・他の医療機器等と接合し、使用する場合には、あらかじめ 接合部に緩みが無いことを確認後、使用すること。また、使用中は定期的に破損、緩み、外れ、空気混入、液漏れ、詰り等がないことを確認すること。
- ・本品に強い衝撃を与えないこと。[破損する可能性がある。]
- ・他の医療機器と接合する場合は以下の事項を順守すること。
  - 1) 過度な締め付けをしないこと。  
[筒先に破損、空回り等が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こす可能性がある。]

- 2) 接合部分に薬液又は血液を付着させないこと。  
[接合部の緩み、空回り等が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こす可能性がある。]
- 3) コネクター等と嵌合する際、横方向の力を加えないこと。  
[筒先に曲がりや破損が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こす可能性がある。]

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- ・併用する医薬品、医療機器の添付文書を確認後、使用すること。
- ・包装が破損・汚損している場合や製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・押子を引く際は、次の事項を順守すること。
  - 1) 外筒印刷部の目盛を超えて押子を引かないこと。  
[押子が外筒から抜け、液漏れが生じる可能性がある]
  - 2) 押子はまっすぐゆっくり引くこと。  
[斜めに引くと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、空気の混入又はガスケットが外れる可能性がある]
- ・外筒印刷部については、次の事項を順守すること。
  - 1) 目盛をこすらないこと。[目盛が消える可能性がある。]
  - 2) 薬液がついた状態で放置しないこと。[印刷が剥離する可能性がある。]
- ・医薬品の種類によっては、本品の外筒内側に塗布されているシリコン油が析出することがあるので注意すること。  
シリコン油が析出した場合は医薬品の添付文書を確認し、適切な処置をとること。
- ・ガスケット部に注射針等で傷をつけないこと。  
[破損が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こす可能性がある。]
- ・注射針等を接続し使用する場合は、針刺しに注意し慎重に取り扱うこと。
- ・冷蔵保存する際は取扱いに注意すること。[低温下では耐衝撃性が低下し、破損する可能性がある。]
- ・包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

##### \* 2. 不具合・有害事象

- 1) 不具合
  - ・空気混入
  - ・注射筒の破損
  - ・接続部の緩み
  - ・液漏れ
  - ・目盛剥がれ
- 2) 有害事象
  - ・感染

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### ＜保管方法＞

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温・低温・多湿を避けて保管すること。

##### ＜有効期間＞

- ・個別包装に記載〔自己認証により設定〕

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ユニシス  
(緊急連絡先) TEL:03-5812-7768(国内営業部)